

日薬連発第 841 号
令和元年 11 月 7 日

加盟団体 殿

日本製薬団体連合会

公用文等における日本人の姓名のローマ字表記について

標記の事務連絡が厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課、医療機器審査管理課、医薬安全対策課および監視指導・麻薬対策課より当連合会宛てにありましたので送付いたします。

つきましては、貴会会員への周知方宜しくお願いいたします。

記

令和元年 11 月 1 日付け

○公用文等における日本人の姓名のローマ字表記について

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課
医療機器審査管理課
医薬安全対策課
監視指導・麻薬対策課
事務連絡

事務連絡
令和元年11月1日

日本製薬団体連合会 御中

厚生労働省医薬・生活衛生局
医薬品審査管理課
医療機器審査管理課
医薬安全対策課
監視指導・麻薬対策課

公用文等における日本人の姓名のローマ字表記について

表記について、令和元年10月25日の公用文等における日本人の姓名のローマ字表記に関する関係府省庁連絡会議において、別添のとおり申合せが行われましたので、参考までにお知らせします。

つきましては、「輸出用医薬品、輸出用医療機器等の証明書の発給について」（平成26年11月25日付け薬食発1125第12号厚生労働省医薬食品局長通知）に基づく証明書発給の申請については、下記のとおり取り扱うことにいたしますので、貴管下の製造販売業者等に対して御周知くださるようお願いいたします。

記

「輸出用医薬品、輸出用医療機器等の証明書の発給について」（平成26年11月25日付け薬食発1125第12号厚生労働省医薬食品局長通知）に基づき、令和元年11月1日以降になされる証明書発給の申請の際は、証明者のローマ字表記は姓を全て大文字とし、「姓一名」としてください。（例：YAMADA Haruo）



公用文等における日本人の姓名のローマ字表記について

〔 令和元年10月25日
関係府省庁申合せ 〕

グローバル社会の進展に伴い、人類の持つ言語や文化の多様性を人類全体が意識し、生かしていくことがますます重要となっており、このような観点から、日本人の姓名のローマ字表記については、「姓一名」という日本の伝統に即した表記としていくことが大切である。

したがって、今後、各府省庁が作成する公用文等において、日本人の姓名をローマ字表記する際は、原則として「姓一名」の順で表記することとし、下記のとおり取り扱うこととする。

なお、本件の対応に当たりシステムの改修を要するなど、特別の事情がある場合は、当分の間これによらなくてもよい。

記

- 1 各府省庁が作成する公用文等における日本人の姓名のローマ字表記については、差し支えのない限り「姓一名」の順を用いることとする。
- 2 各府省庁が作成する公用文等のうち、次のものを対象とする。なお、国際機関等により指定された様式があるなど、特段の慣行がある場合は、これによらなくてもよい。
 - (1) 各行政機関が保有する外国語（英語等）のウェブサイト、ソーシャルメディア
 - (2) 外国語（英語等）で発信する文書（二国間・多数国間の共同声明等、白書、基本計画、戦略、答申）
 - (3) 我が国及び各行政機関が主催する会議（公開）における名簿、ネームプレート等
 - (4) 外国語（英語等）の文書（書簡、国際機関・相手国などに対し我が方立場を説明する資料、その他の原議書による決裁を要する文書）
 - (5) 外国語（英語等）による行政資料等
 - (6) 我が方大使の信任状・解任状の英仏語訳
 - (7) 交換公文等の署名欄、国際約束の署名権限委任状の英仏語訳
- 3 各府省庁が作成する公用文等において日本人の姓名をローマ字表記する際に、姓と名を明確に区別させる必要がある場合には、姓を全て大文字とし（YAMADA Haruo）、
「姓一名」の構造を示すこととする。

- 4 地方公共団体，関係機関等，民間に対しては，日本人の姓名のローマ字表記については，差し支えのない限り「姓一名」の順を用いるよう，配慮を要請するものとする。
- 5 上記の内容は，令和2年1月1日から実施するものとする。ただし，各府省庁において対応可能なものについては，実施日前から実施することができる。